

科目名		理学療法評価学実習Ⅰ			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間	(1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <p>評価学で身に付いた評価ツールを用い、各疾患を評価していく。さらに疾患の特性に応じた統合と解釈を練習する。発表と討論の形式で実技を進めていく。</p>								
<p>〔授業全体の内容の概要〕</p> <p>疾患に応じた評価項目の選択から統合と解釈まで、グループで展開していく。理学療法評価学Ⅰ・Ⅱで身に付いた正常者への評価方法から疾患別に評価方法を選択し、疾患別の障害像にあった主要評価方法を練習する。仮説に基づいた統合と解釈を練習する。</p>								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
①各疾患の特性に応じた評価項目が選択できる ②選択した項目を客観的な評価ができる								
③評価の結果得たデータを選別し、仮説を立てて、関連性を結びつけて統合作業を行い、解釈ができる								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	姿勢の分析							
3	変形性膝関節症							
4	変形性膝関節症							
5	変形性股関節症							
6	変形性股関節症							
7	大腿骨頸部骨折							
8	大腿骨頸部骨折							
9	関節リウマチ							
10	関節リウマチ							
11	糖尿病							
12	糖尿病							
13	脊髄損症（頸損）							
14	脊髄損症							
15	パーキンソン病							
16	パーキンソン病							
17	片麻痺（軽度）							
18	片麻痺							
19	片麻痺（中等度）							
20	片麻痺							
21	片麻痺（重度）							
22	片麻痺							
23	脳性麻痺（両麻痺）							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
テキストは使用せず、適宜資料を配布する		

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記テストを行い評価する。
